

備考

- 1 印のある欄には、記入しないこと。
- 2 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含む場合には 印を付し、かつ、資格を有することを証する書類を添付すること。
- 3 3欄は、工事施工者が未定のときは、空欄とし、工事着手前に届け出ること。
- 4 7欄は、造成に関する工事を行うことについて他の法令による許可、許可等を要する場合にその許可、許可等の手続の状況を記入すること。
- 5 次の表に掲げる図面を添付すること。

| 図面の種類          | 明 示 す べ き 事 項  | 縮 尺            | 備 考                                    |
|----------------|--|----------------|--|
| 位 置 図          | 方位、道路及び目標となる地物   | 1万分の<br>1以上    |  |
| 地 形 図          | 方位及び墓地の境界線   | 2,500分<br>の1以上 | 等高線は、2mの標高差を示すものとする。                   |
| 墓 地 の<br>平 面 図 | 方位及び墓地の境界線並びに切土又は盛土をする土地の部分、がけ（切土又は盛土をする土地の部分に生ずるものに限る。以下同じ）、擁壁（切土又は盛土をする土地の部分に生ずるがけに設置するものに限る。以下同じ）及び排水施設（切土又は盛土をする土地の部分に設置するものに限る。以下同じ）の位置 | 2,500分<br>の1以上 | 断面図を作成した箇所には断面図と照合できるように記号を付すること。      |
| 墓 地 の<br>断 面 図 | 切土又は盛土をする前後の地盤面  | 2,500分<br>の1以上 | 高低差の著しい箇所について作成すること。                   |
| 排水施設の<br>平 面 図 | 排水施設の位置、種類、材料、形状、内のり寸法、勾配及び水の流れの方向並びに吐け口の位置及び放流先の名称  | 500分<br>の1以上   |  |
| が け の<br>断 面 図 | がけの高さ、勾配及び土質（土質の種類が二以上であるときは、それぞれの土質及びその地層の厚さ）、切土又は盛土をする前の地盤面並びにがけ面の保護の方法  | 50分<br>の1以上    | 擁壁で覆われているがけ面については、土質に関する事項は、示すことを要しない。 |
| 擁 壁 の<br>断 面 図 | 擁壁の寸法及び勾配、擁壁の材料の種類及び寸法、裏込めコンクリートの寸法、透水層の位置及び寸法、擁壁を設置する前後の地盤面、基礎地盤の土質並びに基礎ぐいの位置、材料及び寸法  | 50分<br>の1以上    |  |
| 擁 壁 の<br>背 面 図 | 擁壁の高さ、水抜き穴の位置、材料及び内容並びに透水層の位置及び寸法  | 50分<br>の1以上    |  |

6 次に掲げる書類を添付すること。

- (1) 防災計画平面図
- (2) 排水施設構造図
- (3) 実測図
- (4) 市長が必要と認める書類